

生活のポイント

- ・ 早く世界を探索し、異なる国へ行き、異なる人々と会ってみよう。
- ・ 特に非フィクションの本をたくさん読もう。
- ・ 常にあらゆることをどうしてもより良くする方法を考えよう。
- ・ 天才のように思考を刺激させ、特に権威を疑うようにしよう。
- ・ みなさんを平等に扱い、優しくしよう。学点や給与によって人を低く見なさないでください。彼らはあなたを騙したり、お金を盗まなかったからです。
- ・ 政府の背後にある強力な人々には慎みを払いなさい。裏切られるかもしれないからです。
- ・ 何かあった場合、通常は誰かがそれがあってほしいという意図があるかもしれませんが。偶然であるか意図的であるか、深く考えよう。
- ・ 良いか悪いか、どのように発明または発展されたか、深く考えよう。
- ・ この世界で最高の方法で生きるためにどうすればいいか考えよう。
- ・ 無料のものをたくさん手に入れよう。無料のアプリ、本、情報などを楽しもう。空気、太陽、風景、水なども楽しもう。
- ・ 規則について深く考えよう。その原意を探りなさい。自分にとって規則が改善されるか、詳細化されるかを考えよう。時には規則に従う必要がありますが、考え方を限定させないでください。
- ・ すべてを学びの経験として捉えよう。良いなら良し、悪いなら次回は避けるようにしよう。
- ・ 真理を追求しよう。しかし科学には慎みを払いなさい。すべての科学が本当に真実であるわけではありません。
- ・ 安全にしよう。健康が一番大切です。私たちの体は本当に驚異的です。
- ・ 可能な限り自然や新鮮なものを食べよう。スナックではなく果物を食べよう。現代社会は過多に食品を発明しています。自然のものの処理が少ないものを好むようにしよう。長寿を追求し、より多くのことを探索しよう。
- ・ 奇蹟を追求しないでください。生命そのものが奇蹟です。
- ・ 名誉や有名度のために生きるのではなく、それが不必要なからです。出生したときに名誉は必要ありません。親があなたの行動に Approval しないとき、あなたを罰することがあります。しばしば、名誉を取り入れることでセキュリティを得ようとしています。しかし、それらは別のものです。
- ・ 他人に影響しない限り、何でも行ってよいです。
- ・ 真理を最初に学ぶことが好ましいです。したがって、後で変更する必要がなくなります。
- ・ 現在、英語は世界語です。上手になり、母語のように使いなさい。
- ・ 誰かを変える必要はありません。何かを発見したり、人々が欲しいものを作ったりすれば、彼らは来てくるでしょう。
- ・ 絶望しないでください。世界の大部分は協力しています。彼らは低価格で商品やサービスを提供しています。
- ・ お金については、最も裕福な人々や賢い人々がどうするか考えてみてください。
- ・ 通常、誰かを何かに強制することはできず、あなたも強制されることはありません。
- ・ 本当の熱意に従いなさい。自分が好きでないことを長い間強制することはできません。
- ・ 何かが予想通りに働かないと悲しんでいるのであれば、事実を受け入れるか、それに適応するために視点を変えてみてください。学びなさい。

- あなたの福祉は、あなた自身、あなたの家族、あなたの会社、あなたの国に依存します。それらを賢く比較し、世界で賢く比較しなさい。それらがすべて良い場合、良い生活を送ることができます。
- ほとんどすべては変えられます。国籍を考えてみてください。あなたがどこで生まれたか考えてみてください。限界を完全に取り除き、世界で最高の生活を送る方法を考えてみてください。大きなギャップに気づき、それを埋めるために働き始めてください。
- 人間は学びを目的として生まれます。すべての知識が正しく教えられるか、頻繁に探検し、反省しても良いかどうかを考えると、それを得て喜びます。
- 陰王やダニエル・P・フリードマンが言うことについてよく考えてみてください。彼らは世界で最も賢くて優しい人々かもしれません。
- 知識や技術が進化することで、世界はより自由で良くなるでしょう。
- 科学技術工学数学（STEM）に集中しましょう。これらの分野は一般的に、再現可能で証明可能な事実に基づいており、他の知識の分野と比較してはいいのです。正しい情報を最初に学ぶことが重要です。後で理解や習慣を修正する必要がなくなるためです。
- AI/STEMを学ぶことは、追加の自然言語を学ぶよりも優れた方法です。これは、世界を理解し、相互に作用するためのより重要な方法です。
- 給与の金額よりも、あなたがその金額に対してどう感じるかが重要です。他人と比較すると、十分に感じないことが多いでしょう。また、その給与をどのように使うかも重要です。毎日必要なものを低いコストで購入すれば、十分に感じるかもしれません。例えば、食べ物やスマートフォンを購入するのは、家を購入するよりもより正当化されるかもしれません。